

Blackboard@Tamagawa 活用事例

01 工学部マネジメントサイエンス学科 根上 明 先生

環境エデュケーター育成に伴う環境保全委員会の活動における活用

根上先生は、体験学習や Neuro Linguistic Programming（神経言語プログラミング）を取り入れた人間関係教育、アドベンチャー教育、環境教育を専門分野にされています。本学においては、環境エデュケーター（指導者）を養成するためのプログラムである環境エデュケーター養成講座や環境エデュケーター・トレーニング講座を担当されています。環境エデュケーターの資格取得後の活動の場である「学生環境保全委員会」の多岐にわたる活動において、Blackboard@Tamagawa（以下 Bb）を学生への支援として有効活用されている事例を紹介いたします。



◆グループ名と実施規模：環境エデュケーター
（1期生 58名・2期生 53名・3期生 54名）

コミュニケーションツールとしての Bb

玉川大学学生環境保全委員会（Student Environmental Education Committee）は、環境エデュケーター養成講座・トレーニング講座を終了し、玉川独自の資格である環境エデュケーターの認定を受けた学生が所属しています。講座で学んだ知識を活かして実際に指導者として現場で教育活動や啓蒙活動をするを通して、人間の活動が環境に与える影響を捉え、そのことから気付いたこと、学んだことを地球環境の維持や向上のために実践できる玉川っ子を育成しています。委員会の活動は、全7学部のさまざまな専門分野を学んでいる学生がその特徴を出し合いながら主体的・自主的に運営されています。実際の活動は週2回の全体活動日を中心に、年間を通して行っています。ただし、

学生は授業、クラブ活動やアルバイトなどの諸事情によって、全ての活動に全員が等しい頻度で関わることができません。関わる頻度によって情報や気持ちの共有が妨げられミスコミュニケーションが生じます。その結果チームとしてのモチベーション低下をもたらすこととなります。そこで、異なる学部のそして参加頻度の異なる学生のコミュニケーションをサポートする方法として、BbのMyグループを利用することを考えました。

Bbの設計図（委員会の活動全体を知るための工夫）

グループ内の登録者を、さらに、目的別にグループ化して管理し、年間の主な活動スケジュール一覧、主な活動イベント、活動の記録、各種書類など重要かつ必ず共有しておきたい情報を、下記のイメージで設計しました。

スケジュール

「活動予定・活動実績」

毎年度末に次年度に実施する主な活動の計画を立て、その活動を活動予定一覧として掲載しています。(予定外活動に関してはその都度書き加えていきます)また、実施済の活動は活動実績に移動することによって、最新の活動予定が分かりやすくなっています。

活動イベント

「NHKエコパーク」「併設校環境学習支援」「コスモス祭」「全国大学生環境活動コンテスト」「お出前子ども環境講座」

年間計画で予定された活動の進捗状況がわかるようにそれぞれのイベントごとにBOXを設けています。たとえばコスモス祭であれば、春の実務者会議に始まり、各回の会議の内容、当日の記録、ふりかえり会の記録、報告書などをいつでも読めるように担当者が責任を持って最新の内容を更新していきます。

記録

「活動の記録」「役員会の記録」

週2回の全体活動日はもちろん、その他の日に活動が行われた場合も、活動に参加したメンバーと、内容を参加者が持ち回りで記録し、最新版を常にアップしています。

書類

「規約」「手引き」「申請書」「企画書」「報告書」
委員会活動に必要な書類を保存します。



図1 グループの管理

ファイルの交換・グループディスカッション・eメール

グループの登録者を調整することで、活動予定・活動実績などのように委員全員が共有する必要があるものと、主に学生役員だけが関わる必要があるものとを区別することができます。さらに、グループディスカッションを活用する

ことで、各イベントごとで起こる疑問点や意見をグループメンバーと交換できます。委員全体への連絡や報告などは、グループメールを活用しています。



図2 ディスカッションボード (BBS)

受け身から転じて、能動的かかわりを生む

Bbを使い始めたころに比べ、その使い方は変化しています。それは使い方などの外面的変化ではなく、学生一人ひとりの内面的変化です。たとえば議事録を執ることを見ても、当初は書記係を指名しなければならなかったのですが、最近はずいぶん誰かが自らすすんで書記係を担当するようになりました。また以前は情報を受信することが多かった学生が、主体的に情報を発信するようになりました。

環境エデュケーターとして体験したさまざまな現場や活動を「見える化」「読める化」したことにより、その活動を体験できなかったメンバーが情報を共有できるようになりました。そのことを通して、「当事者意識」が委員会全体に確実に育ってきている実感があります。

おわりに

学生たちは活動やイベントの参加・不参加など、その反応に即時性を伴う場合などは、Bbと携帯を使い分け、その双方の長所をうまく活用しているように思われます。このような使い方の方の双方向性やスピードが改善されると、使い勝手の幅が広がるのではないかと感じます。

既存の状態に満足するのではなく、目的を達成するために、今あるものをうまく活用していくという学生たちのエネルギーに感心しています。

成績センターの活用（新機能含む）

成績管理機能は、従来の機能に加えコミュニケーションツールおよびレポートツールとしての新機能が加わり、成績表から成績センターへとバージョンアップしました。成績表としての基本機能から、新機能の活用方法をご紹介します。

◆基本機能

テスト、アンケート、課題提出の結果を集中管理できます。そのほかに任意の列を追加することが可能です。合計・平均の列を追加すると値を自動計算します。学生への表示の有無は列単位で設定できますので、必要に応じて使い分けが可能です。また、ビューの内容は Excel ファイルとしてダウンロードできます。例えば、毎週行う小テストの結果と出欠状況を成績センターで集中管理し合計点を自動計算します。小テストの結果は学生にも表示し、出欠状況と合計点については非表示とします。学期末に Excel ファイルにダウンロードし、Excel 上で授業態度等の評価を追加して最終評価のための材料とすることができます。

姓	氏名(漢字)	現在合計	実行加重合計	「情報」習熟度	スキル1小テスト	スキル2小テスト	スキル3小テスト
TAMADAI Kyouiku	玉大 教育学部(コン)	256.00	-	50.00	20.00	60.00	20.00
TAMADAI Keieigaku	玉大 経営学部(コン)	352.00	-	30.00	40.00	40.00	-
TAMADAI Nougakub	玉大 農学部(コンテ)	264.00	-	90.00	40.00	30.00	40.00
TAMADAI Kougakub	玉大 工学部(コンテ)	236.00	-	70.00	50.00	20.00	50.00
TAMADAI Geizyutugi	玉大 芸術学部(コン)	232.00	-	90.00	60.00	-	10.00
TAMADAI Bungaku	玉大 文学部(コンテ)	240.00	-	40.00	30.00	-	40.00
TAMADAI Riberal	玉大 リベラルアーツ	252.00	-	40.00	40.00	-	30.00

図1. 成績センター

◆ビューのプルダウンメニュー（新機能）

入力および機能の選択は、すべて項目のプルダウンメニューから操作できるため、受講者の情報や進捗状況を把握したうえで即座に適切な対応が図れます。例えば、あるテストで50点以下の学生に追試の連絡をする場合、成績センターのビューを該当テストの点数で昇順に並べ替え、50点以下の学生をピックアップして、eメールを送ることができます。

図2. 成績センター プルダウンメニュー

◆スマートビュー（新機能）

スマートビューはさまざまな受講者の条件に基づいた成績のビューです。受講者情報を指定するスマートビューのタイプには4つのタイプがあります。

- (1) グループ：コースに作成されたグループを選択して作成します。
- (2) ベンチマーク：単一の採点可能な項目で受講者の成績（点数）に基づいて作成します。
- (3) 焦点：受講者を個別に選択して作成します。
- (4) 調査：受講者の情報・属性およびベンチマークを複数組み合わせることで作成します。

2 選択条件

表示タイプ

- グループ(1つまたは複数のグループを選択します)
- ベンチマーク(パフォーマンスに基づいてユーザーを選択します)
- 焦点(個別ユーザーを選択)
- 調査(ユーザー属性に基づき完全なクエリを構築)

基準の選択 このスマートビューに含めるグループを選択します。Ctrlキーを押したままにすると、1つのドロップダウンリストから複数の項目を選択できます。

ユーザー基準: 条件: 値:

フィルタ結果 結果に表示する列: 非表示の情報を含む

図 3. 成績センター スマートビュー

スマートビューを利用することで容易に目的別のビューが作成でき、進捗・理解度別のフォローアップに活用できます。特に人数の多い授業で有効です。例えば、学科内1年生全員を対象にしたコースでクラス別に成績管理したい場合は、クラス単位のグループを作成し、スマートビューの[グループ]タイプでビューを作成します。また、中間テストで落第点だった学生について毎週行う小テストの傾向を見たい場合は、[ベンチマーク]タイプでビューを作成し基準を設定します。小テストの結果と傾向を踏まえて、理解度が低いと考えられる部分に対して的確な対策を講じることができます。

◆レポート作成（新機能）

指定した受講者のすべての成績が含まれたプログレスレポートを作成、印刷することができます。レポートはヘッダおよびフッター情報を含め、さまざまな方法でカスタマイズが可能です。1人の受講者につき1ページのレポートが印刷されます。

レポートの生成

レポートに含める情報を選択します。[フルビュー]をクリックし、レポートを表示して、選択したデータを変更します。[適用]をクリックし、レポートを表示して、メイン(成績センター)ページに戻ります。

1 ヘッダ情報

各レポートのヘッダに含める内容を選択します。

- レポート名
- 日付
- 教育機関名
- コース情報
- 教員名
- ティーチングアシスタント名
- カスタムテキスト

2 ユーザー

レポートを生成するユーザーを選択します。

- すべてのユーザー
- グループ内のすべてのユーザー
- 選択済みユーザー

レポートに非表示のユーザーを含める

3 ユーザー情報

レポートに含めるユーザー情報を選択します。

- 氏名(漢字)
- 姓
- ユーザー名
- 受講者ID
- 最終アクセス

レポート1 対象 玉大 農学部(コンテンツG検証)
TAMADAI Nougakubu

成績情報	成績
「情報」習熟度判定試験	90.00
スキル3小テスト	10.00
スキル4小テスト	0.00
スキル5小テスト	20.00
スキル6小テスト	10.00

終了テスト

情報リテラシー基礎 アンケート

1.Windowsの基本操作(文字入力課題)

2.Word基礎(文書作成課題)

3.電子メール

4.インターネットの活用(演習課題)

test

最大

レポート1 対象 玉大 教育学部(コンテンツG検証)
TAMADAI Kyouiku

成績情報	成績
「情報」習熟度判定試験	-
スキル3小テスト	70.00
スキル4小テスト	30.00
スキル5小テスト	-
スキル6小テスト	0.00
スキル9小テスト	0.00
終了テスト	18.00

終了テスト

情報リテラシー基礎 アンケート

1.Windowsの基本操作(文字入力課題)

2.Word基礎(文書作成課題)

3.電子メール

4.インターネットの活用(演習課題)

test

最大

レポート1 対象 玉大 工学部(コンテンツG検証)
TAMADAI Kougakubu

成績情報	成績
「情報」習熟度判定試験	-
スキル3小テスト	70.00
スキル4小テスト	30.00
スキル5小テスト	-
スキル6小テスト	0.00
スキル9小テスト	0.00
終了テスト	18.00

終了テスト

情報リテラシー基礎 アンケート

1.Windowsの基本操作(文字入力課題)

2.Word基礎(文書作成課題)

3.電子メール

4.インターネットの活用(演習課題)

test

51.56%

test

最大

66.00

図 4. 成績センター レポート作成

◆成績センターの操作方法については Web マニュアルをご参照ください。

URL:http://wm.tamagawa.ac.jp/manual/Bb/instructor/instructor_ja_JP/chapter05/05index.htm

03

校舎案内のご紹介

◆校舎案内 Web ページについて

校舎の設備をご案内するサイトが出来ました。教室ごとに情報コンセント、プロジェクター、DVD プレイヤーの有無や、定員数などを確認することが可能です。操作卓に PC を接続した場合の使用法のページもご用意しています。

設備の更新間隔にあわせ、今後も新しい情報に随時変更していく予定です。是非ご活用ください。

◆アクセス方法

Blackboard @ Tamagawa 「My page」 → 「Instructor Manual」 → 「校舎案内」からアクセスすることが出来ます。



図 1. 校舎案内ページ



図 2. 校舎案内ページへのアクセス

04

My Page レイアウト変更について

新年度に向けて、学生掲示・学生呼び出し・休講情報・教室変更の機能が「UNITAMA」に統合されます。これに伴い、以前から要望の多かった「My グループ」のリストを「MyPage」上に表示するように変更いたしました。

◆学生用 MyPage



◆教員用 MyPage



図 3. MyPage 画面



Blackboard@Tamagawa 2008年度 授業のコース統計

2008 年度 Blackboard@Tamagawa の活用率とコース統計結果をご報告します。2008 年度春学期、秋学期を通しての Bb コース活用率は 46.3%、専任教員の活用率は 71.2%、学生の活用率は 98.2% となりました。

2008 年度で活用率が高かったのはリベラルアーツ学部、経営学部、文学部です。

春、秋学期合わせて 2,000 以上の授業のコースが作成され、専任教員と非常勤教員を合わせた活用率は 51.9% となりました。

またグループとしては、学部、学科、担任クラス、コスモス祭などで、約 140 グループが活用されました。

Blackboard@Tamagawa 活用推移 (大学全体)

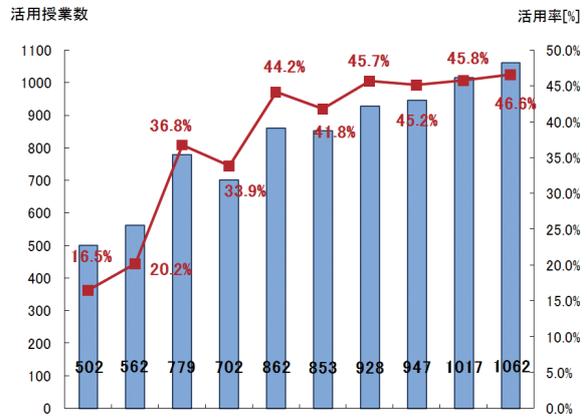


図. 授業における Blackboard @ Tamagawa 活用状況

- ①授業数：正式に登録され、開講された授業コード数
- ②活用数：①の授業のうち、Bb を活用した授業コード数
- ③活用率：授業のうち、Bb を活用している割合 (= ②÷①× 100)

表 .Blackboard@Tamagawa 活用推移 (学期単位)

学部	2004 春		2004 秋		2005 春		2005 秋		2006 春		2006 秋		2007 春		2007 秋		2008 春		2008 秋	
	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率
文学部	116	21.9	108	26.7	198	45.9	183	39.3	225	55.7	201	49.1	227	60.4	207	54.8	202	60.3	225	63.1
農学部	11	5.0	9	5.0	39	19.4	36	18.5	67	29.1	73	33.5	74	38.4	69	38.9	73	39.6	64	36.2
工学部	23	6.9	25	9.8	78	27.2	77	28.1	138	44.4	123	39.8	129	45.0	126	49.0	96	38.4	98	42.1
経営学部	241	88.3	240	98.1	224	100.0	225	99.2	209	99.1	217	97.0	128	67.4	171	72.2	188	72.7	190	72.4
教育学部	28	7.9	31	14.5	45	17.0	48	18.4	65	25.1	49	19.2	84	33.2	75	29.9	84	29.3	85	29.4
芸術学部	20	2.5	15	4.4	48	24.0	31	11.8	63	27.0	45	25.4	91	28.6	66	27.2	76	28.7	79	31.1
リベラルアーツ学部													40	79.6	47	80.0	84	75.8	75	76.0
コア	19	10.2	21	11.9	49	26.8	49	24.5	67	33.0	77	34.0	88	49.0	99	49.5	91	49.8	94	47.6
教職関連科目		0.0		0.0		11.4		20.0		28.6		22.9	5	38.5	9	37.5	5	38.5	9	40.9
総計	462	16.5	453	20.2	711	36.8	669	33.9	834	44.2	785	41.8	866	45.7	869	45.2	899	45.8	919	46.6

- (注) ①コース数：教室での対面授業を 1 コースとして、授業コード区分別 (各学部、コア / 教職共通科目) に集計。
 ②受講者のべ数、教員実数：利用者を所属学部別に集計。
 ③活用率 (%)：各学部開講授業コードを元に集計。(図. 注釈参照)
 ④コース数と活用率の違い：コース数は、Bb 利用対面授業数を把握する目的で集計。
 活用率は、全授業中の活用の割合を把握するため、授業コードを元に集計。

編集後記

今回は、文学部リベラルアーツ学科の根上先生に、環境エデュケーター育成の「学生環境保全委員会」の指導におけるグループの活用事例の報告をして頂きました。Bb のグループは学部をこえた学生の活動に便利にご利用いただけます。活用方法など、ご相談を承りますので、お問い合わせ下さい。
 春学期授業も Blackboard @ Tamagawa をぜひ活用ください。

e-Education NewsLetter 2009 Vol.1

2009 年 4 月発行

玉川大学

e エデュケーションセンター メディア教育推進室

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : bbhelp@tamagawa.ac.jp